

2006 年度

科目名 国語学概論	対象学科・学年 文学部文財1回生	担当者 宇都宮啓吾	
授業テーマ 文献文化財を考える上での基礎的知識を身につける。			
授業の概要と目標 文化財学科専門の科目として、文献文化財について分析する際に必要な国語学的知識の習得を目標とします。			
評価方法 テスト（ノート・教科書持ち込み可）と平常点（全講義数の2/3以上は出席すること）で総合的に評価します。			
テキスト 『梵字入門－仏教美術考古学研究者のための－』	著者 綜芸舎編集部	出版社 綜芸舎	
参考書 特に指定しません。適宜、紹介します。	著者	出版社	
授業スケジュール・内容 以下の内容について、みなさんの理解度に応じて講義を進めていきます。文献研究に少しでも興味を持ってもらえることを願っています。			
	時間	テーマ	補足
導入	1	オリエンテーション	講義計画・評価方法の説明
	2	国語学の意義	文献文化財研究への国語学の応用とは
展開	3	文字・表記の諸問題①	文字の歴史：文体史 平仮名・片仮名の成立 片仮名の歴史的変遷
	4		
	5		
	6		
	7	文字・表記の諸問題②	古写本の分析の視点：奥書・訓点の活用
	8		
	9		
	10	文字・表記の諸問題③	梵字の基礎：梵字実習
	11		
12			
13			
総括	14	本講義の総括	本講義の総括
	15	テスト	